

サポート情報記事

RSS Reader のプライバシーとセキュリティ: フィードの読み込み方法と送信される情報



免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、**Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia)** を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、<https://vitextra.com> からアクセスできる **Vitextra** を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに	4
管理者向けの概要	4
ソリューションのアクセス許可	5
ユーザーに必要なもの	5
フィードの読み込み方法と送信される情報	5
構成の格納場所	7
ブラウザーに保持される内容	7
フィード コンテンツの表示方法	8
Vitextra のサービスへの要求	8
ネットワーク要件	9
推奨事項	9
期限	11

はじめに

社外のコンテンツをイントラネットに取り込む **Web** パーツは、管理者にとって 2 つの疑問を生みます。何がテナントから出ていくのか、そして何が入ってくるのか、です。**RSS Reader** は、そのコンテンツが **Vitextra** のサーバー (フィードをダウンロードするフィード サービス) を経由するという点で、**Vitextra** 製品の中では特別です。この記事では、その要求に正確に何が含まれるのか、**Web** パーツがテナント内で何を許可されているのか、構成がどこに保存されるのか、ブラウザーに何を保持するのか、発行元がフィードに入れた **HTML** をどのように扱うのかを説明します。

管理者向けの概要

質問	回答
パッケージはどの API アクセス許可を要求しますか?	なし
Web パーツは、 SharePoint のリスト、ファイル、ユーザー プロファイルを読み取りますか?	いいえ
フィードをダウンロードするのは誰ですか?	ブラウザーからの要求を受けた Vitextra フィード サービス
フィード サービスへの要求には何が含まれますか?	フィードのアドレス、テナント ID 、ユーザーのオブジェクト ID 、サイトのアドレス、製品とそのバージョン
テナントのコンテンツが Vitextra に送信されますか?	いいえ
構成はどこに保存されますか?	ページ上の Web パーツ プロパティ。 Teams 個人用アプリの場合は、お客様のテナント用に Vitextra のサービス内
ブラウザーには何が保持されますか?	最後に読み込まれたフィード アイテム。タブのセッションで最大 30 分間

質問	回答
フィードの HTML はページ内で実行されますか?	いいえ。不活性な方法で解析され、プレーン テキストとイメージのアドレスだけが使用されます

ソリューションのアクセス許可

RSS Reader は、アプリ カタログから展開される **SharePoint Framework Web** パーツです。

- パッケージは **API** アクセス許可を要求しません。SharePoint 管理センターの **API** アクセスページには何も表示されず、**Web** パーツがデータのために **Microsoft Graph** や **SharePoint REST API** を呼び出すこともありません。
- ページ コンテキストから読み取るのは、すべての **Web** パーツが持つ情報だけです。テーマ、言語、サイトのアドレス (ライセンス確認とフィード要求のため)、サインインしているユーザーの **ID** (同じ要求のためのオブジェクト **ID**) です。
- **SharePoint**、**OneDrive**、**Microsoft Entra ID** には何も書き込みません。

ユーザーに必要なもの

タスク	必要なアクセス許可
パッケージをアプリ カタログにアップロードする、 Teams に追加する	SharePoint 管理者、またはアプリ カタログの所有者
Web パーツをページに追加し、フィードを構成する	ページの編集アクセス許可
Teams 個人用アプリの既定の構成を保存する	Web パーツを含むページの編集アクセス許可
フィードを読む、ソースを切り替える、絞り込む、検索する	ページの閲覧アクセス許可

フィードの読み込み方法と送信される情報

ブラウザーは、ある **Web** サイトのスクリプトが別の **Web** サイトからドキュメントをダウンロードすることを、相手の **Web** サイトがクロスオリジン ヘッダーで許可

していない限り認めません。フィードの発行元がこれを許可することはほとんどありません。そのため、ブラウザだけで動作する **RSS Web** パーツは、ほとんどのフィードで失敗します。**RSS Reader** は、**vitextra.com** のサーバー側の **フィード サービス** でこれを解決します。ブラウザはフィード アドレスの一覧をサービスに送信し、サービスはインターネットからフィードをダウンロードして解析し、チャンネルとアイテムを構造化データとして返します。

読み込みと自動更新のたびに、次の内容を含む **1** つの要求がフィード サービスに送られます。

フィールド	値
Sources	構成されたフィードのアドレス
TenantId	お客様の Microsoft 365 テナントの ID
UserId	Microsoft Entra ID におけるサインインユーザーのオブジェクト ID (GUID)
SiteUrl	Web パーツが動作しているサイトのアドレス
ProductId、ProductName、ProductVersion	製品の識別子、内部名、バージョン

応答には、フィード アイテム (タイトル、リンク、説明、日付、作成者、分類、イメージのアドレス) と、ダウンロードできなかったソースの一覧が含まれます。サービスは、お客様のテナントのコンテンツを受け取ることも返すこともありません。ユーザーは名前や電子メール アドレスではなく、**GUID** によって識別されます。

3 つの影響:

- 構成した **フィードのアドレス** は、フィード サービスに知られます。アドレス自体にシークレット (クエリ文字列内の個人用トークンや **API キー**) を含むフィードは使用しないでください。そのようなフィードはアグリゲーターと共有することを想定しておらず、サービスはフィードを匿名でダウンロードするため、いずれにしてもサポートされません。
- 社内ネットワーク内でのみ到達可能なフィードは表示できません。
- ブラウザーがフィードのために発行元のサーバーに接続することはありません。

接続するのは、アイテムの**イメージ**のためです。イメージは、**Web** ページ上の他の画像と同様にブラウザーが直接読み込むため、発行元にはユーザーのブラウザーからの通常の画像要求が見えます。

メモ

Vitextra によるこれらの要求の処理については、[プライバシー ポリシー](#)で説明しています。要求がサービスに伝えるのは、ページにどのフィードが構成されているかであり、ユーザーがどの記事を開いたかではありません。記事へのリンクは発行元に直接つながり、クリックが **Vitextra** に報告されることはありません。

構成の格納場所

SharePoint ページ上では、構成 (アドレス、名前、順序を持つフィード、レイアウト、スイッチ) は、**Site Pages** (サイトのページ) ライブラリ内のページの中にある **Web** パーツのプロパティに格納されます。ページを読み取れるユーザーは誰でも構成を読み取れます (フィードのアドレスは、いずれにしてもソース タブに表示されます)。ページのバージョンには以前の構成が保持されます。

Teams 個人用アプリの場合、管理者が**個人用アプリ (Microsoft Teams)** グループの**設定の保存**で構成を保存します。この構成 (同じフィールドで、**Web** パーツのタイトルを除く) は、個人用アプリには格納先となるページがないため、お客様のテナントと製品に対して **Vitextra** のサービスに格納されます。テナント内のすべてのユーザーの個人用アプリによって読み取られ、次の**設定の保存**で上書きされます。含まれるのは設定とフィードのアドレスだけで、ユーザー データは含まれません。

Teams チャネル タブでは、構成はページ上と同様にタブと一緒に格納されます。

ブラウザーに保持される内容

読み込みが成功すると、**Web** パーツは受信したアイテムを、フィード アドレスのセットをキーとしてブラウザーの**セッション ストレージ**に書き込み、次のアクセス時に最新のアイテムをバックグラウンドで読み込む間にコンテンツを即座に表示するために、最大 **30** 分間それを使用します。キャッシュにはフィード サービスから返されたとおりのフィード アイテムが含まれ、ユーザーに関する情報は一切

含まれません。キャッシュはブラウザー タブのセッションに属し、タブを閉じると削除されます。**Web** パーツは、ローカル ストレージ、**Cookie**、その他の永続的なストレージを使用しません。

ユーザーがどの記事を開いたかは、どこにも**記録されません**。既に関いたタイトルの淡色表示は、スクリプトからは読み取れない、ブラウザー自身の訪問済みリンクの記憶に基づいています。

フィード コンテンツの表示方法

フィード アイテムには、発行元が書いた **HTML** (マークアップ付きの説明、埋め込まれた画像、場合によってはスクリプトやトラッキング ピクセル) が含まれています。**RSS Reader** は、この **HTML** をページに挿入することはありません。

- 説明は**不活性なパーサー (DOMParser)** で解析されます。このパーサーはスクリプトを実行せず、埋め込まれたリソースも読み込みません。表示されるのは**プレーン テキスト**だけです。
- アイテムのイメージは、フィードのメディア要素または説明の最初の画像から取得され、典型的なトラッキング ピクセルである **1** ピクセルの画像はスキップされます。イメージは、発行元のアドレスを持つ通常の **** 要素として表示されます。
- リンクは、発行元のサイトの元の記事を新しいタブで開きます。**Web** パーツがトラッキング パラメーターを追加することはありません。

不正な形式のアイテム (要素の欠落、壊れたマークアップ) は、持っているデータで表示され、他のアイテムの表示を妨げることはありません。

Vitextra のサービスへの要求

目的	送信される内容	送信先
フィード サービス	上記の表を参照	vitextra.com
ライセンスの確認	テナント ID、ユーザーのオブジェクト ID、サイトのアドレス、製品の識別子、名前、バージョン	vitextra.com
Teams 個人用アプリの構成	個人用アプリの読み込みのたびに読み取られ、設	vitextra.com

目的	送信される内容	送信先
	定の保存で書き込まれる、上記の構成フィールド	
使用状況テレメトリ	Web パーツの読み込み時のイベント: 製品の名前とバージョン、サイトの ID とアドレス、ユーザーのオブジェクト ID、インターフェイスの言語、Web パーツが Teams で実行されているかどうか。エラーの技術的な詳細	Azure Application Insights
製品ファイル	Web パーツのスクリプトとアイコンに対する通常のファイル要求	static.vitextra.com 、 vitextra-storage.azureedge.net

すべての Vitextra 製品にわたる同じ情報については、[KB10363. Vitextra 製品がデータを保存する場所: プライバシー、データ所在地、GDPR](#)を参照してください。

ネットワーク要件

ユーザーのネットワークから (および Teams クライアントから)、vitextra.com、static.vitextra.com、vitextra-storage.azureedge.net への送信 HTTPS を許可してください。最初のホストにアクセスできないと、Web パーツはアイテムの代わりに*申し訳ございません。問題が発生しました...*を表示します。他の 2 つにアクセスできないと、Web パーツはまったく読み込まれません。アイテムのイメージは発行元のホストから読み込まれます。プロキシが発行元をブロックしている場合、そのアイテムは画像なしで表示されます。

推奨事項

- 1 イン트라ネット上の他の外部コンテンツと同様に、組織が信頼する発行元のフィードを使用してください。タイトル、テキスト、画像は発行元のものであ

り、お客様の確認なしに変わります。

- 2 **HTTPS** のイメージを持つ **HTTPS** のフィード アドレスを優先してください。
HTTP で配信される画像は、**HTTPS** ページ上ではブラウザーによってブロックされます。
- 3 アドレスに個人用トークンを含むフィードは構成しないでください。そのアドレスは、ページを読み取れるすべてのユーザーおよびフィード サービスと共有されます。
- 4 共用のコンピューターでは、他のイントラネット ページと同様に、サインアウト時にブラウザーのサイト データをクリアしてください。フィードのキャッシュは、いずれにしてもタブと一緒に消えます。

期限

SharePoint Framework (SPFx)

SharePoint Framework (SPFx) は、SharePoint Online、SharePoint Server (オンプレミス)、Microsoft Teams 向けのクライアント側 Web パーツ、コンポーネント、拡張機能を構築するためのモデルです。SPFx のカスタマイズは JavaScript に基づいており、モダン ユーザー インターフェイスをネイティブでサポートします。

アプリ カタログ

アプリ カタログは、SharePoint、Teams、その他の Microsoft 365 サービス向けのアプリを格納する特別な SharePoint サイトです。グローバル管理者または SharePoint 管理者は、AppSource マーケットプレイス、カスタム開発アプリ、サードパーティ製アプリのアプリケーションを、組織の内部使用のためにアップロードして管理できます。テナントには、テナント レベルのアプリ カタログを 1 つだけ作成できます。個々のサイト コレクションには、サイト コレクション アプリ カタログを追加できます。